

平成三十一年度

適性検査型・特別奨学生選抜入試

第一回 解答・解説

検査Ⅰ

郁文館中学校

「問題1」

解答例

短冊をまるめ、矢印と矢印を貼り合わせて、のりしろは無視するということ。(三十五字)

解説

本文では、図1の説明として「結び目を無視」すること、図3の説明として「二つの矢印をアイデンティファイ」する(貼り合わせる)ことが述べられています。また、図2を見ると作業工程に「丸める」ことが書かれているので、これらを参考にして解答を作ります。

解答のポイント

- ① 「矢印と矢印を貼り合わせる(アイデンティファイする)」という内容が述べられている。
- ② 「のりしろは無視する」という内容が述べられている。

「問題2」

解答

科学的であるとさえいえる(十二字)

解説

本文では、「このような表現はアイデンティファイのアイデアが生かされていて、むしろ科学的であるとさえいえる」とあります。「このような表現」とは問われている「地図で『北』上』という同一視をする」ことですので、筆者は「同一視」を「科学的であるとさえいえる」と評価していると読み取ることができます。

「問題3」

解答例

タバコを絶対的な悪と考え、議論を許さない空気が会場全体を完全に支配しているため、通常であれば許されるはずのない「人殺し！」という発言が、当然の主張としてなんの抵抗もなく参加者たちに受け入れられたから。(一〇〇〇字)

解説

本文では、タバコを絶対的な悪だと考える空気が会場中を支配していたことが述べられています。また、空気の支配は「議論を許さない」「抵抗できない」ものであることが読み取れます。そのような空気の中、「『人殺し!』」というものすごい言葉が、なんの抵抗もなく受け入れられ「たため、他の参加者は何の反応も示さなかったのです。また、「ものすごい言葉」とは、筆者が後に述べているように「許されることでは」ない言葉ですが、それが当然の主張として受け止められたこともポイントです。これらの要素をまとめて、一〇〇〇字以内で解答しましょう。

解答のポイント

- ① 「タバコを『悪』と考える空気が支配している」ことが述べられている。「臨在感的」はあってもよいがそれだけでは「悪」の代わりにはならない
- ② 「議論を許さない」「相対化することがない」または「抵抗できない」「反論できない」という内容が述べられている。
- ③ 「人殺し!」という発言が「許されない」ものであることが述べられている。
- ④ 「発言(叫んだ内容)が参加者たちに(抵抗なく)受け入れられた」ことが述べられている。

「問題4」

解答例

資料1では、地図上で「北」を「上」と同一視するという例を挙げて、人がものを考えるときは同一視することで思考しやすくなるということが述べられています。資料2では、遺影デモで先頭に配置される「亡くなった人」を「被害者」と同一視するという例を挙げて、対象を臨在感的に把握し、議論を許さずに絶対化する「空気」の支配に身を任せてはいけないということが述べられています。

私は、人を何かと同一視して考え、評価することは差別やいじめにつながるので良くないと考えます。以前見たアメリカの黒人どれいが主人公の映画では、黒人どれいが同じ人間なのに白人の農場主から家畜のような扱いを受けていて、私はとても悲しい気持ちになりました。これは、「黒人」を「白人より劣る存在」と同一視しているからこそできる行為だと思います。人の評価は、人種や性別、見た目や体格などからなされるべきではありません。人の長所や短所を知るためには、安易に同一視せず、一人一人と向きあう必要があります。私は中学校に入学したら、クラスメイトとの会話を大切にしてお互いの良いところを見つけ合いたいと思います。